

令和5年度 第1回総合戦略推進委員会 当日いただいたご意見・ご質問一覧

番号	項目	ご意見・ご質問	回答・説明
1	運転免許返納者に対するタクシーチケットの配布について	<p>交付の窓口は総務課ということですが、高齢者からすると4階まで行くのはきつい。エレベーター等もありますが、できれば1階で手続等が済ませれば高齢者にとっては便利かと思います。</p>	<p>要望につきましては、担当課へお伝えさせていただきます。</p>
2	プロサイクルチーム「スパークルおおいた」との連携について	<p>今後の具体的な取組について教えてください。</p>	<p>例えば、スパークルおおいたの選手に市内の名所やカフェ等を巡ってもらい、そこからチームの情報発信力を活かして、豊後大野市の認知度向上を図っていくなど、来年度に向け、現在、さまざまな取組について研究を行っております。</p>
3	地域公共交通について	<p>あいのりタクシー、路線バス、コミュニティバスなど、利用者の方の声についてデータ等があれば紹介していただきたいです。</p>	<p>毎年12月に車内アンケートを実施しています。また大分大学の学生と協力をして集落調査も実施しています。</p> <p>それらの中で、事業担当として感じたことは、自動車免許を持っている方が以前より増えており、バスやタクシーを利用する方については本当に高齢化している方が多くなったということです。</p> <p>以前は公共交通を利用し、一度でいろんな用事を済ませることができていましたが、最近はなかなか横の移動ができなくなり、困っていますという声があります。また、バスのステップに足が上がりなくなって、今のバスでは登れなくなったという声もあります。</p>
4	サウナのまちの取り組みについて	<p>遠くから来られる方はレンタカーや事業所の送迎を利用しているとのことですが、サイクルツーリズムやスポーツ、食などはサウナと非常に親和性が高いのではないかと思います。</p> <p>今後、そのあたりも研究して行ってほしいと思います。</p>	<p>今後の課題ということで捉えております。</p> <p>サウナとスポーツツーリズム、サイクルツーリズムを絡めた事業展開について、今後、検討していきたいと思います。</p>

令和5年度 第1回総合戦略推進委員会 当日いただいたご意見・ご質問一覧

番号	項目	ご意見・ご質問	回答・説明
5	サウナのまちの取り組みについて	サウナに訪れる方の回遊する仕組みについて、実際に訪れる方はサウナの前後、どのように行動しているのか、また、市内にどれだけの人が宿泊されているのか、分かる範囲で教えてください。	全ての事業者から細かいデータは取っていませんが、サウナ利用者の約半分を占める事業者からの報告では、サウナに訪れた方のうち約35.8%の方が宿泊をされ、日帰りの方は約64.2%とのこと。今後は行動パターンも含めた調査研究を行っていただければと思います。
6	サウナのまちの取り組みについて	リバーパーク犬飼の伊東社長もサウナに関心を持っています。今後の取組についてぜひフォローアップをお願いします。	リバーパーク犬飼の伊東社長とは今後の展開について協議を進めています。ぜひ一緒に盛り上げていただければと思います。ご協力よろしく申し上げます。
7	サウナのまちの取り組みについて	全国的にサウナブームです。「サウナのまち」が今後埋もれてしまわないように、フィンランドとの友好協定について戦略的に取り組んでいく必要があると思います。 最終的にフィンランド政府からのお墨付きをもらうなど、他の地域との差別化を図る必要があると思います。	今年のサウナ万博では在日フィンランド大使館の方を招いて交流を行いました。先方からも大変好評をいただいております。引き続き交流を継続していきたいと思っています。
8	サウナのまちの取り組みについて	市として、経済的な支援は十分できていると思います。ただ、経済的な支援だけでは今後の事業の継続も難しくなってくると思います。 行政としては経済的支援に加えて、社会的支援を行っていかねばなりません。頑張ってサウナでまちおこしをしている方たちと、既存の地域住民の方をどのように絡めて、どのように盛り上げて、地域の文化にしていくかということが、市としては重要な役割になってくるかと思っています。	貴重なご意見ありがとうございます。 頑張ってもらっしゃる方々と従来からの地域の方々、その結びつきが非常に重要であると考えますので、その仕掛け作りをこれからも検討していきたいと思っています。

令和5年度 第1回総合戦略推進委員会 当日いただいたご意見・ご質問一覧

番号	項目	ご意見・ご質問	回答・説明
9	サウナのまちの取り組みについて	<p>動画を拝見させていただきましたが、元々おられる地元の方が出てこないということが気になりました。豊後大野市の住民がどれだけサウナに入っているのか。</p> <p>地元の方がサウナを体感でき、サウナに対する認識を変えられるような工夫をぜひお願いしたいと思います。</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。</p> <p>今後の取組の参考にさせていただきます。</p>
10	サウナのまちの取り組みについて	<p>市全体で盛り上げていくのであれば、サウナ飯登録の飲食店でもサウナののぼりを立てたり、施設を紹介するなどの取組をしてほしいと思います。</p>	<p>のぼりについては、各飲食店に以前配布したものが、少し古くなってきておりますので、来年度以降に再配布を行い、一緒になってサウナのまちのPRをしていきたいと思っております。</p>
11	サウナのまちの取り組みについて	<p>ゆくゆくは市からのクーポン支援がなくても、サウナをやってらっしゃる方、飲食店をやってらっしゃる方、ホテルの方、互いに協力し合って割引券を出す等、市全体で盛り上げていけるようなればよいと思います。</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。</p>
12	サウナのまちの取り組みについて	<p>三重町駅の整備事業をやっていくということですが、せっかく「サウナのまち」を宣言していますので、駅前にサウナのモニュメントであるとか、公衆サウナを設置するとか、サウナ施設までの案内版設置であるとか、まち全体で社会的な支援ができないのかなと思います。</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。</p>

令和5年度 第1回総合戦略推進委員会 当日いただいたご意見・ご質問一覧

番号	項目	ご意見・ご質問	回答・説明
13	サウナのまちの取り組みについて	LAMPまでの道のりが非常に厳しい。道路整備を早期にお願いしたいと思います。 そうすれば、サウナと一緒に高千穂町の観光スポットとも周遊できるようになります。	緒方－高千穂線整備促進期成会の中でも要望してまいります。
14	豊後大野市の公共交通について	さまざまな規制はあるかと思いますが、公共交通以外で福祉サービスや宅配の車両など活用できるものはないのでしょうか？現状をお伺いします。	例えば、病院から出している送迎用の車両ですが、あくまでも自宅から病院までの送迎のみで、移動の費用も利用者から徴収することはできません。タクシー会社に送迎を委託している病院もあるようですが、なかなかタクシー会社と病院側で価格が折り合わないという話も聞きます。現状としてはとても経営的には厳しいものと伺っております。 今後、こういった連携、取組ができるかを模索していく必要があると考えています。
15	豊後大野市の公共交通について	当面はコミュニティバスやあいのりタクシー等、これらの制度を継続していくという理解でよいでしょうか？	来年度、新たな運行の形態について見直しを行うことを計画しています。現状の運行でこれだけ利用者が減っているということは、ニーズに合っていないという認識を持っていますので、段階的に見直しを行っていきたいと考えています。
16	豊後大野市の公共交通について	利用している方々の満足度は高いが、利用者が減っているということで、市民のニーズに合っていないというお話がありました。 市民のニーズとはどのようなものと捉えられていますか？	行きたいときに行きたい場所へ行ける。これが市民の方のニーズだと捉えています。 原付バイクで移動されていた方が多かった10年前は、より安全なコミュニティバスへ乗り換える方が一定数いらっしゃったのですが、現在は交通に対するニーズも多様化しており、自家用車を運転する高齢の方も多くなりました。 以前は病院からスーパー、銀行など、コミュニティバスで一度に用事が済んでいた方も、今ではその距離を移動することさえ困難な方が多くなっています。また、バス停までの移動も難しいという方も増えてきました。 今後は新たな移動の形を模索していくことも必要であると考えています。

令和5年度 第1回総合戦略推進委員会 当日いただいたご意見・ご質問一覧

番号	項目	ご意見・ご質問	回答・説明
17	豊後大野市の公共交通について	公共交通のインフラ整備を手厚くしていくことは当然ですが、今すぐ行きたいとか、そういう発想自体を変えていく。スマートで計画的に生きていくというような社会的スタイルの提案であるとか、そういった勉強会を増やしていくなど、地域住民の方々と一緒に新しい価値観を作っていくような取組も必要ではないかと感じました。	<p>貴重なご意見ありがとうございます。</p> <p>平成26年から行っている「大人の社会見学」事業では地域の方々と計画的に出かけましょうといった目的もありますので、こういったところで新しいニーズが育っていくのではないかと感じています。</p> <p>ニーズの多様化、加えて、どこまで地域住民に負担してもらおうかといったところが今後の大きな課題となってきますので、持続可能な公共交通の造成に向け、引き続き検討していきたいと思います。</p>